

# 第3回旧菓子文化会館等 再整備基本構想検討懇話会



令和7年11月12日  
金沢市

- これまでの主な意見
- 旧菓子文化会館等再整備基本構想（案）
  - 1. 施設概要と周辺状況及び課題
  - 2. 整備の方向性
  - 3. 今後について
- 意見交換の論点

懇話会の経過

日 程	回	内容
令和 7 年 6 月 2 日	第 1 回懇話会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現状と課題の整理</li><li>・ 施設の基本的な方向性</li><li>・ 求められる役割、必要な機能</li></ul>
令和 7 年 8 月 25 日	第 2 回懇話会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 基本構想骨子（案）</li></ul>

検討の視点

木の文化都市・金沢

○木の文化都市・金沢を象徴する建築物      ○歴史的なまちなみや文化的景観との整合    など

泉鏡花記念館のリニューアル

○付加価値の高いコンテンツの充実      ○利用環境の向上    など

尾張町界隈の拠点性

○回遊性の向上      ○立地特性を背景とした新たな機能の創出    など

## 視点①

### 木の文化都市・金沢

木の文化都市・金沢を象徴する建築物  
歴史的なまちなみや文化的景観との整合 など

#### 【意見】

- 木を活かしたランドマークとなる建物、外観や建物自体に魅力がある建物になるとよい
- 尾張町と下新町それぞれの持つ雰囲気や歴史の二面性が上手くデザインされた建物
  - ・ 尾張町 … 商店街の雰囲気に合う落ち着いた雰囲気
  - ・ 下新町 … 庇が深く張り出し、少し薄暗い上品なイメージ  
泉鏡花記念館の奥ゆかしさ、日本的な雰囲気や空間の維持
- 金沢の気候と歴史を踏まえ、木の良さや深い庇などがデザインとしてうまく表現された、令和の時代だからこそできる金沢らしい建築物
- 周辺へのまちなみの調和を図ることで地域全体の価値を上げることにつながる

## 検討の視点②

### 泉鏡花記念館のリニューアル

付加価値の高いコンテンツの充実  
利用環境の向上 など

#### 【意見】

- 泉鏡花記念館の展示・収蔵機能の強化が必要
- 魅力発信の方法も検討する必要がある、作品や歴史文化を現代の感覚で再解釈した体験型イベントによる交流促進も考えられる
- 泉鏡花を核として、まちの魅力へとつながる物語をビジュアルで見せる工夫が必要
- 芝居小屋や寄席などの町民文化を活かし、観光客も地元の方も賑わう施設になるとよい
- ものの本質や本物に触れる言葉を介さない感動が、外国人にも伝わる「分かりやすさ」につながる。
- 鏡花やまちの文化に触れ、その上で、まちの構成を俯瞰して見られるスペースがあるとよい

## 検討の視点③

### 尾張町界隈の拠点性

回遊性の向上

立地特性を背景とした新たな機能の創出 など

#### 【意見】

- 回遊性の視点でも重要な場所であり、周辺の観光地や文化施設へ誘導していくことが重要
- 尾張町界隈の地域の文化を紹介するとともに、学校以外で文化に触れて学ぶことができれば、若い世代や親子にも価値を感じられる
- 地元の人の往来があり、来館者が地域の生業に触れることができれば、施設から周辺への誘導にもつながる
- 多目的スペース（体験や交流の場、多くの人が集まれる空間）、休憩スペース、歴史文化のアーカイブコーナー、若い世代もターゲットにした情報発信の場があるとよい
- 雨の日でも楽しめる施設があればニーズが高い
- 夜も利用できる施設であってほしい

## 基本構想の構成

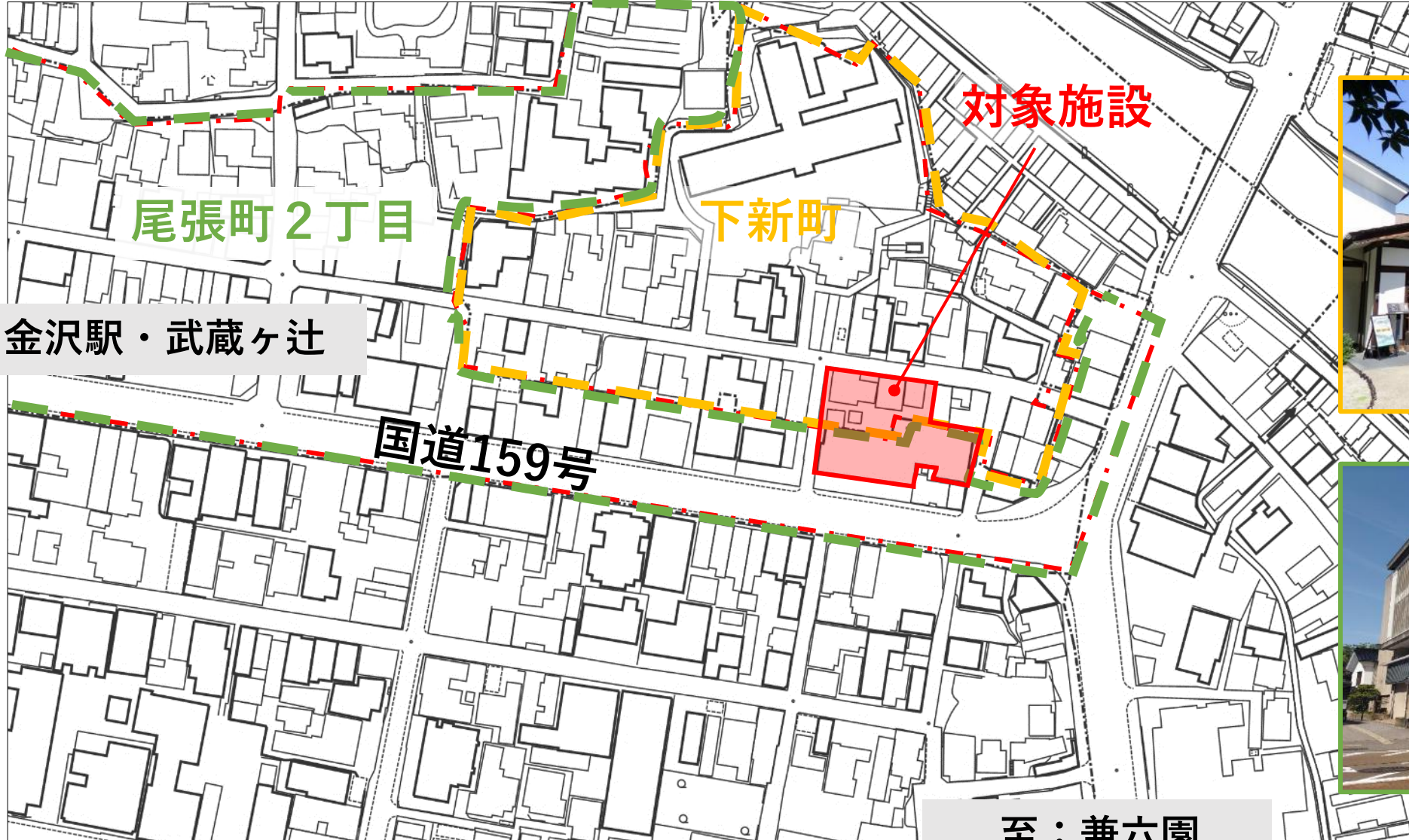
1. 施設概要と周辺状況及び課題
2. 整備の方向性
3. 今後について

# 1. 施設概要と周辺現況および課題

7

## (1) 対象施設

至：ひがし茶屋街



至：金沢駅・武蔵ヶ辻



泉鏡花記念館  
(下新町)



旧菓子文化会館  
(尾張町 2 丁目)

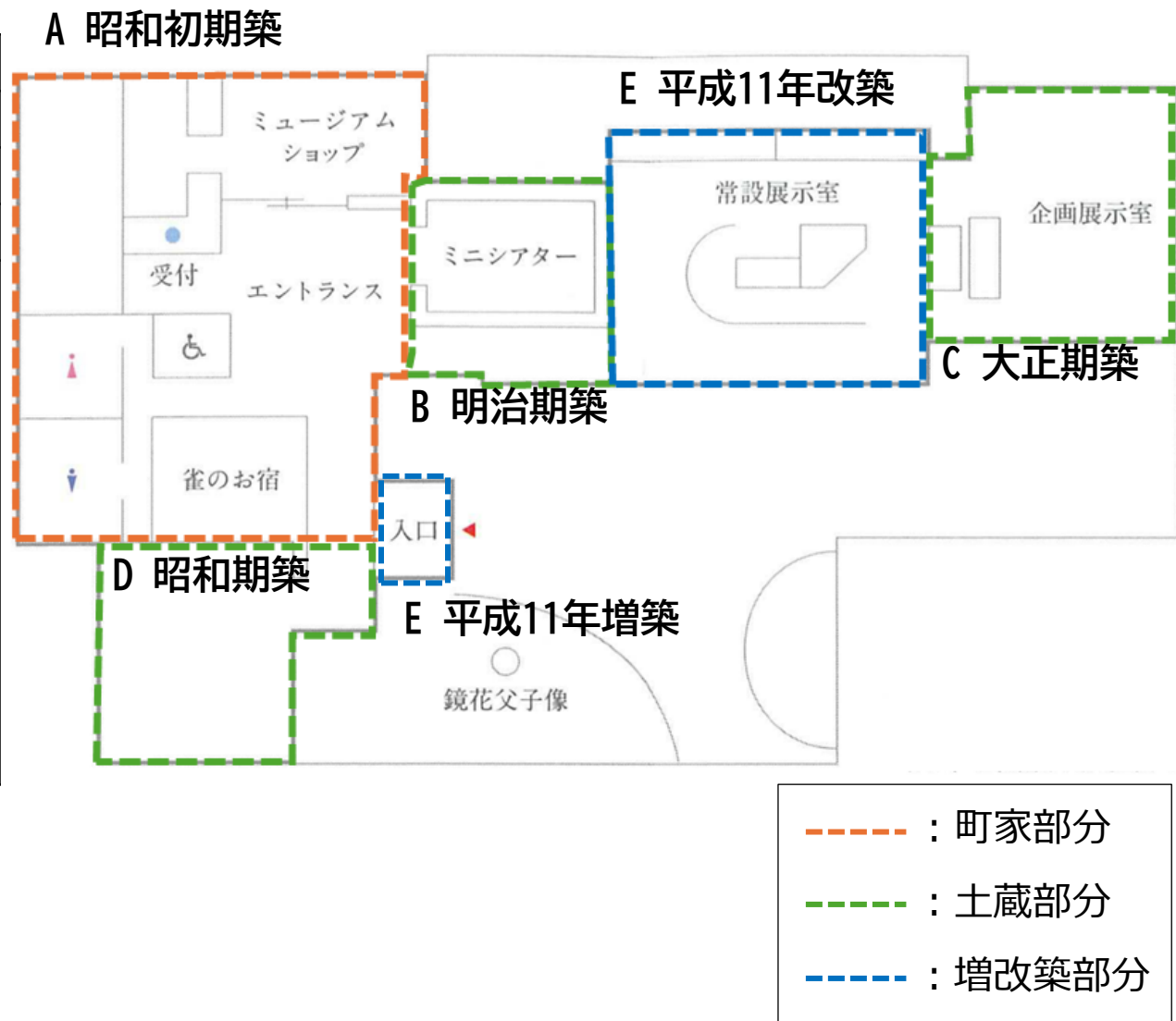
至：兼六園

# 1. 施設概要と周辺現況および課題

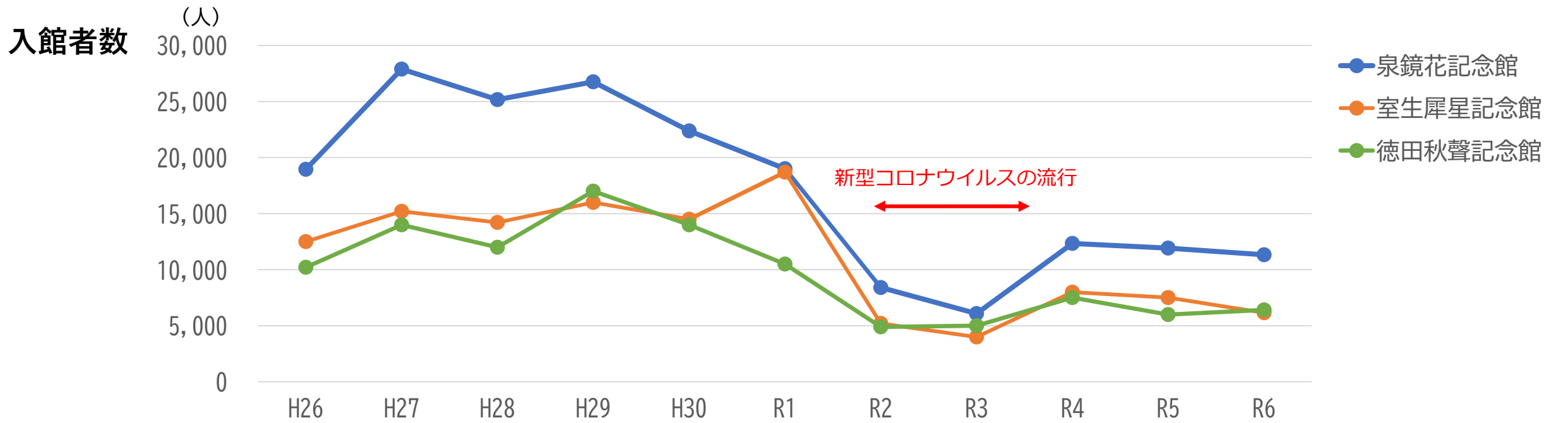
8

## (2) 泉鏡花記念館の概況

地 番	下新町2番3号
敷地面積	670.10㎡
構 造	木造 地上2階、土蔵3棟
延床面積	431.09㎡
建 築 年	町 家：昭和初期（詳細不明、一部増改築） 土 蔵：明治期（詳細不明） 大正期（詳細不明） 昭和期（詳細不明） 増改築：平成11年（1999年） ※泉鏡花が幼少期を過ごした生家跡地 （生家は明治時代に火災により焼失） に建つ町家等を改修し、 平成11年（1999年）に開館



(3) 泉鏡花記念館 金沢三文豪の記念館の利用状況等比較

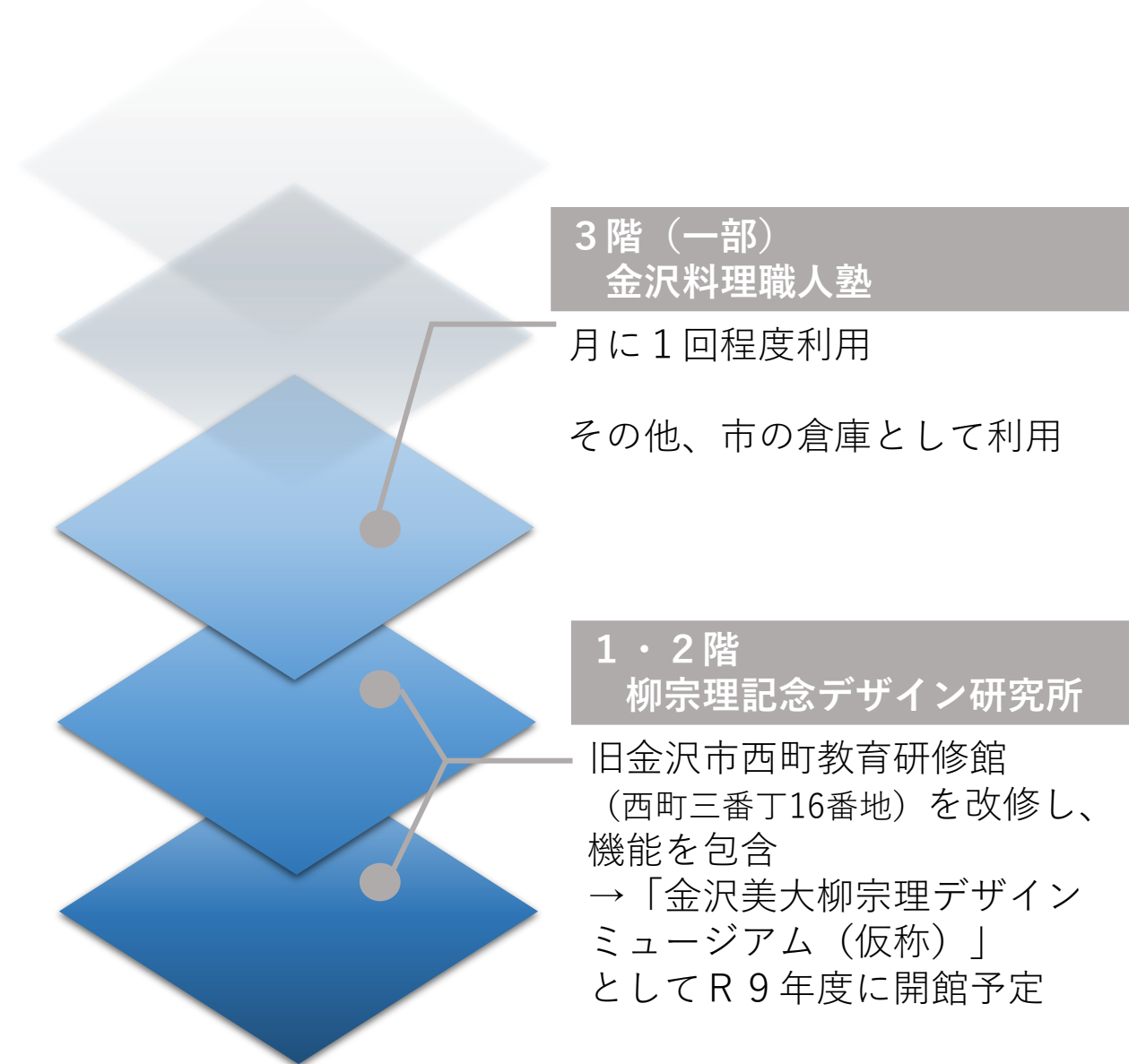


施設規模

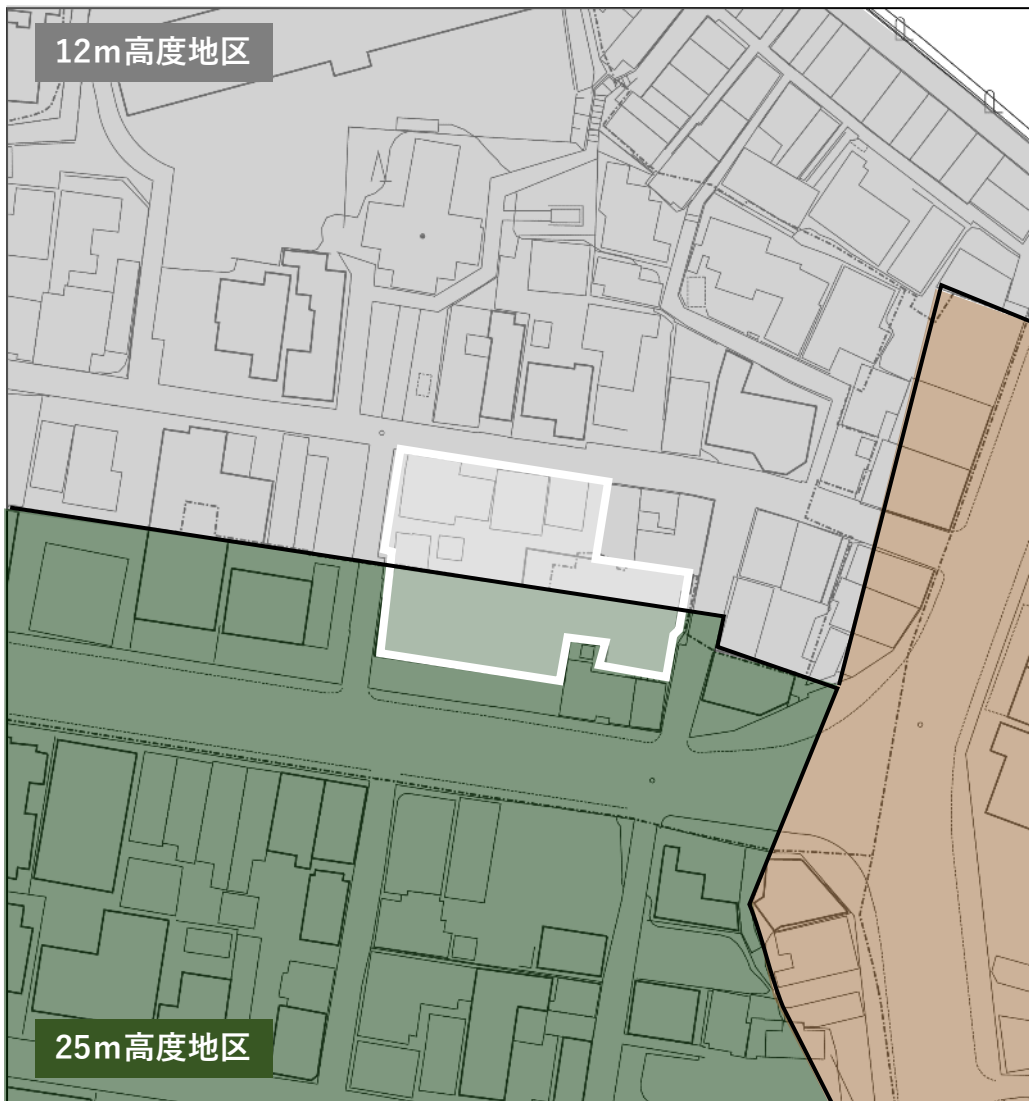
エリア	泉鏡花 (改修)	室生犀星 (新築)	徳田秋聲 (新築)
展 示	1 4 7 m <sup>2</sup>	2 0 1 m <sup>2</sup>	2 5 2 m <sup>2</sup>
収 蔵	3 0 m <sup>2</sup>	5 8 m <sup>2</sup>	4 4 m <sup>2</sup>
管 理	1 2 8 m <sup>2</sup>	1 1 3 m <sup>2</sup>	7 3 m <sup>2</sup>
共 用	7 5 m <sup>2</sup>	1 3 1 m <sup>2</sup>	1 7 5 m <sup>2</sup>
合 計	3 8 0 m <sup>2</sup>	5 0 3 m <sup>2</sup>	5 4 4 m <sup>2</sup>

## (4) 旧菓子文化会館の概況

地 番	尾張町2丁目8番地1ほか
敷地面積	781.06㎡
構 造	鉄筋コンクリート造 地上5階・地下1階
延床面積	3,384.10㎡
建 築 年	昭和41年（1966年） 59年経過 ※平成24年（2012年） 金沢市が取得 平成26年（2014年） 柳宗理記念デザイン研究所を開設



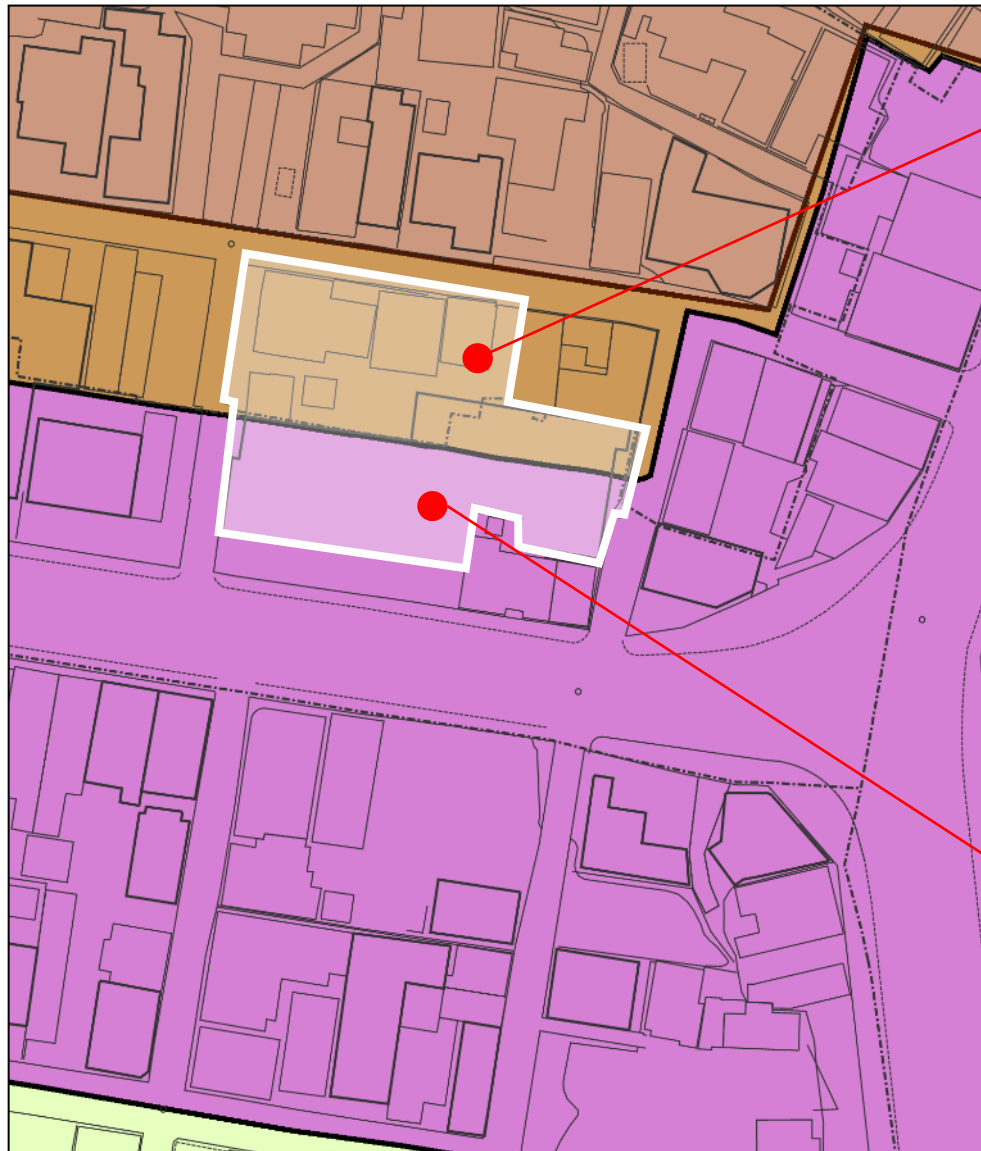
## (5) 法令等の状況 都市計画



### 都市計画関係

	泉鏡花記念館（下新町）	旧菓子文化会館（尾張町）
用途地域	商業地域（建ぺい率80%、容積率500%）	
高さ規制	12m高度地区	25m高度地区
防火地域	準防火地域 （3階建て以上、または延床面積が500㎡を超える建築物は耐火建築物または準耐火建築物）	防火地域 （3階建て以上、または延床面積が100㎡を超える建築物は耐火建築物）

## (5) 法令等の状況 景観政策



### 景観政策関係

#### 泉鏡花記念館（下新町）

伝統環境保存区域（伝統的街並み区域－彦三町・尾張町地区）

- ▶ 周辺の景観と調和した落ち着いた形態意匠とする 等

#### 重要文化的景観区域

- ▶ 泉鏡花の生家跡である敷地が、重要文化的景観の「文化的な象徴」に指定

#### 金澤町家保全活用推進区域

- ▶ 金澤町家の維持・修復に努める

#### こまちなみ保存区域（町家系、旧新町区域）

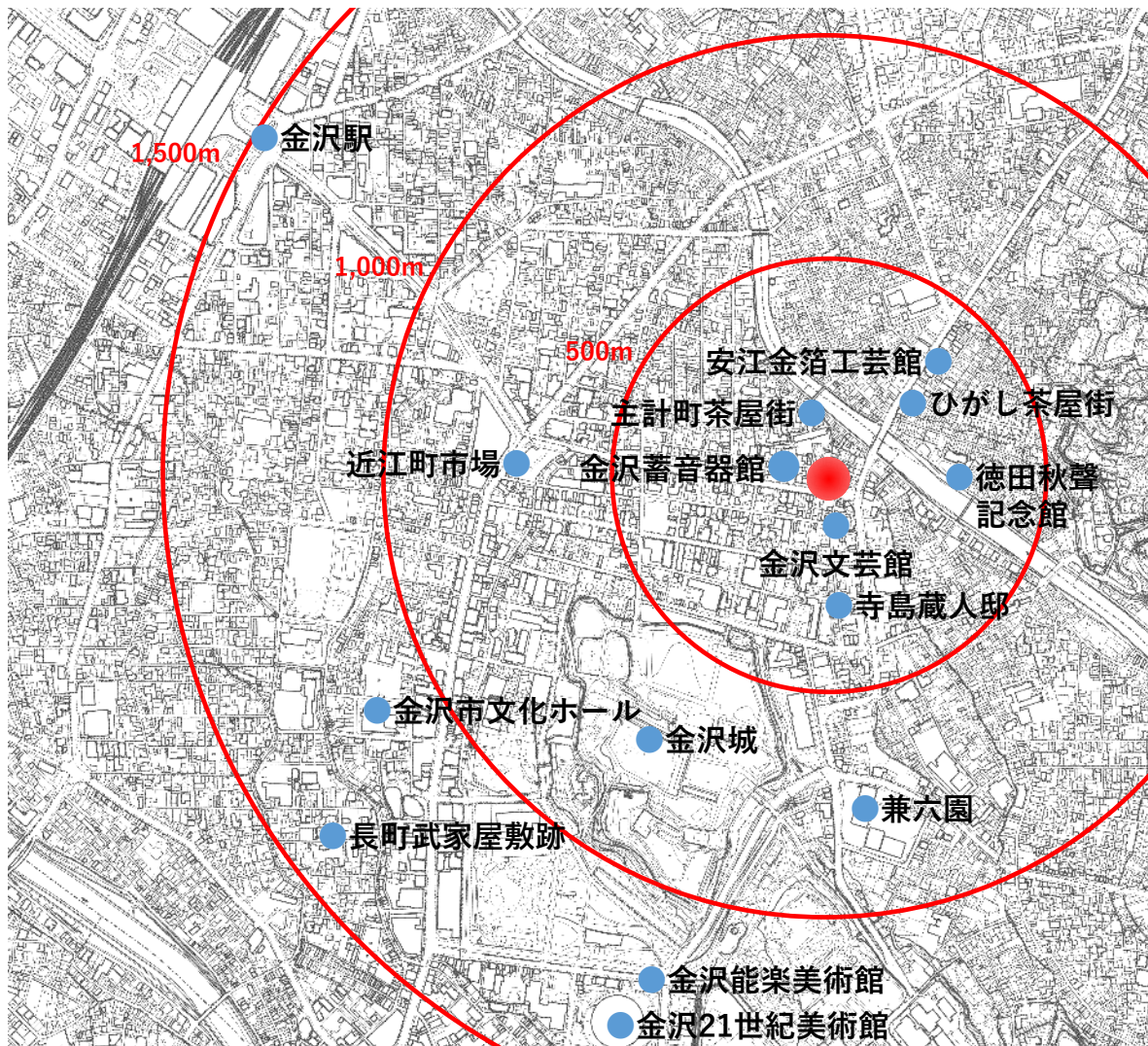
- ▶ 伝統的建造物と調和した魅力ある町並みの整備に努める

#### 旧菓子文化会館（尾張町）

伝統環境調和区域（景趣調和区域－尾張町地区）

- ▶ 周辺の景観と調和した落ち着いた形態意匠とする 等

## (6) 立地特性



### 歴史文化資産や文化施設が集積

- ・ 半径1,500m内に金沢市の歴史文化資産や文化施設が数多く立地
- ・ 近江町市場からひがし茶屋街へ至る中間点

### 交通

- ・ 路線バス等の通り沿いであるほか、まちのりポートも周囲に点在するなど、市民・観光客いずれにとっても交通利便性の高い位置

### 木の文化都市重点区域

- ・ 木の文化が特に感じられる区域をめざして木の文化都市の実現に向けた施策を重点的に展開

## (7) 地域特性・歴史的背景

### 尾張町

- ・ 前田利家の出身地である尾張荒子で用命を承った町人を召寄せて住まわせたことに町名が由来
- ・ 参勤交代の通り道のため、**特に店構えを大事にしてきた通りであり、現在でも建築年代の異なる建物が建ち並ぶ**
- ・ 菓子屋や時計屋のほか、かつては劇場、大衆芝居小屋など**様々な生業が集積**



## (7) 地域特性・歴史的背景

### 下新町

- ・ 尾張町の拡大に伴い新しく町立て
- ・ **赤や黒の外壁や格子戸のある建物**が建ち並び、  
工芸品販売や染色関係等の**伝統的な業種が集積**
- ・ 能役者や鼓師の住まいが多くあり、浅野川界隈に栄えた**商業・文化活動の舞台**



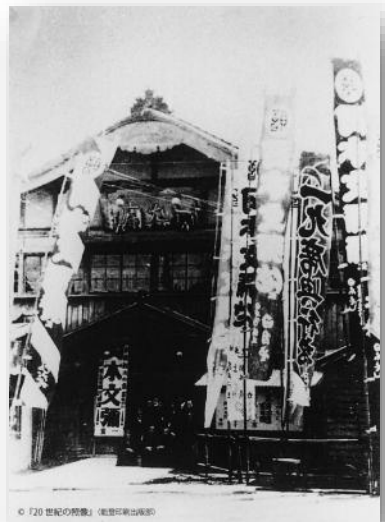
## (7) 地域特性・歴史的背景



### 泉鏡花

- ・ 下新町の生まれで、明治から昭和にかけて活躍した金沢三文豪のひとり。
- ・ 幼い頃に母を亡くしており、その作品は亡母憧憬を基底に、浪漫と幻想の世界を小説や戯曲という形で紡ぎだす。
- ・ 300編あまりの作品を生み出し、やがて文豪と称えられる。
- ・ 作品は文学の世界だけでなく、舞台や映画によっても発展し、現在も人々に愛され続けている。

出典：泉鏡花記念館HP  
URL:<https://www.kanazawamuseum.jp/kyoka/index.html>



### 寄席・一九席

- ・ 明治27年に義太夫語りの竹本一九により下新町に開場。
- ・ 大正8年に尾張町に移転。地方の寄席ながら全国的に有名になる。
- ・ 昭和9年に廃業。

出典：20世紀の照像「能登印刷出版部刊」

## (8) 課題の整理

視点	現況	課題
木の文化都市・金沢	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建築年代の異なる建物が多く現存</li><li>・ 木の文化推進重点区域に指定</li><li>・ 高さ規制が異なる地区にまたがる敷地</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 木の文化都市・金沢を象徴する建築物の整備</li><li>・ 歴史的なまちなみや文化的景観との整合</li></ul>
泉鏡花記念館のリニューアル	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設の老朽化</li><li>・ バリアフリー対応が不十分</li><li>・ イベントスペースが不足</li><li>・ 収蔵機能が不十分</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 付加価値の高いコンテンツの充実</li><li>・ 利用環境の向上</li><li>・ 収蔵品の適切な保存</li></ul>
尾張町界隈の拠点性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 近江町市場とひがし茶屋街の中間点</li><li>・ 周囲に歴史文化資産や文化施設が集積</li><li>・ 現代に受け継がれるまちの歴史文化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 近隣の地域への回遊性の向上</li><li>・ 立地特性を背景をとした新たな機能の創出</li></ul>

### (1) 基本理念

**木の文化都市・金沢を象徴し、  
泉鏡花を育んだまちへと誘う文化交流拠点**

木の文化都市・金沢を象徴する建築物を整備するとともに、  
泉鏡花の世界や鏡花文学を育んだ町人文化に親しみ、  
周辺の文化観光へと誘うことで、文化を通じた交流を推進する

### (2) 役割

#### 木の文化都市・金沢を象徴する

各年代の建築物が多く立地する尾張町界隈のまちなみの魅力を高める、木の文化都市・金沢を象徴する建築物を整備する

#### 泉鏡花の世界を伝える

泉鏡花の文芸作品を演劇等の新たな手法により体験できるようにするなど、泉鏡花記念館の機能強化を図る

#### 文化観光を促進する

歴史文化やまちなみを体感できる地域に開かれた交流拠点として、回遊性の向上を図ることで周辺の文化観光へと誘う

# 体験

### 【方向性】

泉鏡花にちなんだ朗読会や演劇のほか、  
泉鏡花を育んだ町人文化に触れる体験などを通じて  
理解を深める

### 【想定する事業】

#### ソフト（活動）

泉鏡花文芸作品の朗読会・演劇  
泉鏡花に関する映像作品上映  
寄席、演劇などの文化体験

#### ハード（空間）

小劇場  
実演・ワークショップスペース



# 交流

### 【方向性】

地元住民や来街者、若い世代などの交流を生み出し、賑わいを創出する

### 【想定する事業】

#### ソフト（活動）

泉鏡花講座  
泉鏡花文学賞関連イベント  
地域連携イベント  
学生等作品展示

#### ハード（空間）

イベントスペース  
木の魅力を感じられる多目的室や休憩スペース

# 発信

### 【方向性】

木の文化の魅力を発信する

泉鏡花の文芸作品や業績、周辺の歴史文化を発信し、  
回遊性を高める

### 【想定する事業】

#### ソフト（活動）

泉鏡花作品、生涯の紹介

周辺の歴史文化（町人文化）の魅力発信

大型周辺地図、模型展示

若い世代や外国人に向けた情報発信

#### ハード（空間）

常設展示室、企画展示室

眺望スペース

木の文化に資する建築物

# 収蔵

### 【方向性】

収蔵品を適切に保存する

### 【想定する事業】

#### ソフト（活動）

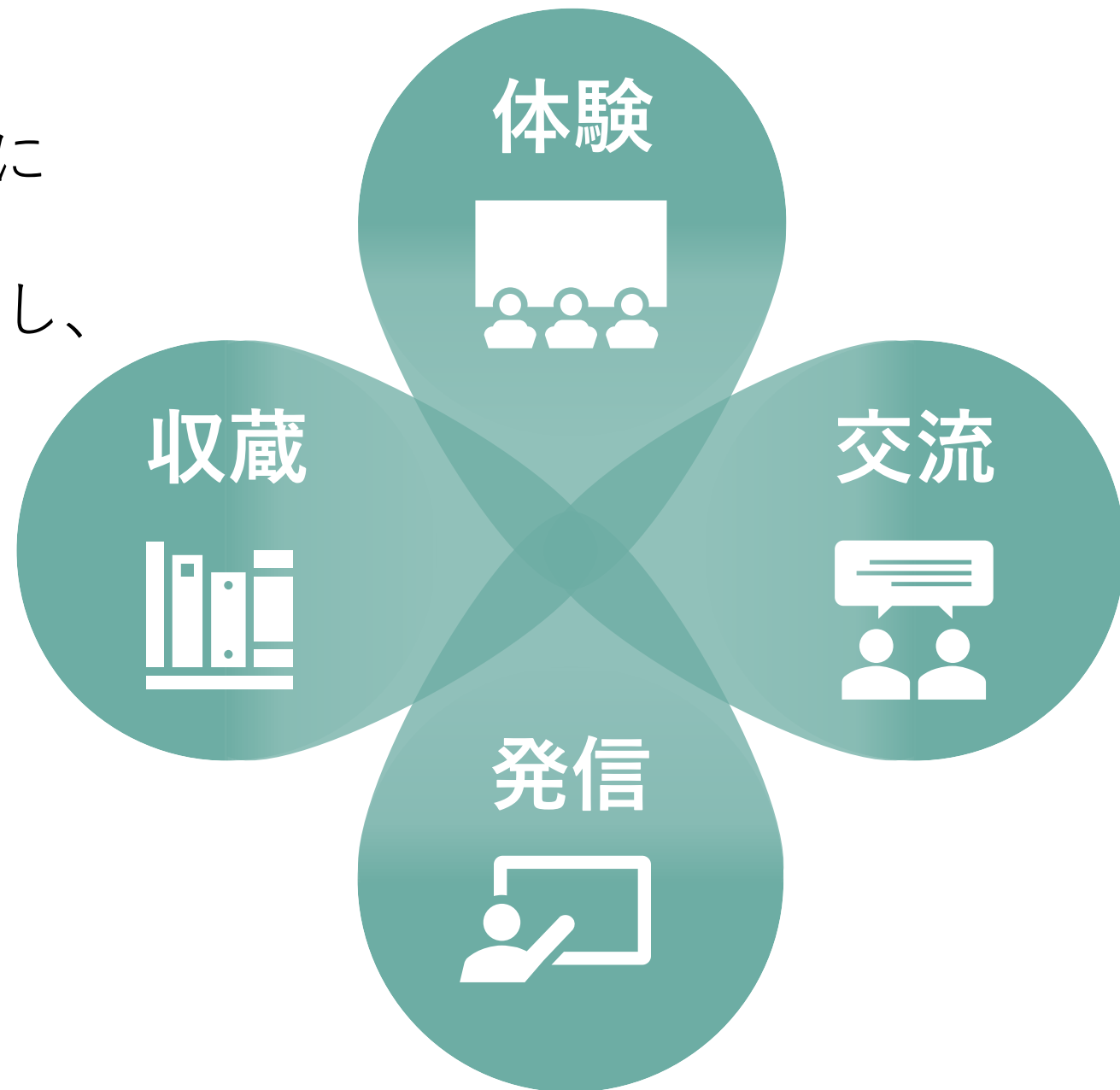
泉鏡花記念館収蔵品の適切な管理及び公開  
隣接する金沢蓄音器館等の収蔵品の適切な管理

#### ハード（空間）

収蔵庫  
収蔵品の性質に応じた見せる工夫

### 4つの機能のつながり

- ▶ 活動が展開される空間やその活動に繋がりをを持たせることで、来館者の新たな発見や交流を誘発し、相乗効果を生み出す。



【基本理念】

【役 割】

木の文化都市・金沢を象徴し、  
泉鏡花を育んだまちへと誘う文化交流拠点

木の文化都市・  
金沢を象徴する

泉鏡花の世界を  
伝える

文化観光を  
促進する

【機 能】

体 験

交 流

発 信

収 蔵

【ソフト（活動）例】

- ・ 泉鏡花作品の朗読会・演劇
- ・ 泉鏡花に関する映像作品上映
- ・ 寄席、演劇などの文化体験

- ・ 泉鏡花講座
- ・ 泉鏡花文学賞関連イベント
- ・ 地域連携イベント
- ・ 学生等作品展示

- ・ 泉鏡花作品、生涯の紹介
- ・ 歴史文化（町人文化）の発信
- ・ 大型周辺地図、模型展示
- ・ 若い世代や外国人への情報発信

- ・ 泉鏡花記念館収蔵品の適切な管理及び公開
- ・ 隣接する金沢蓄音器館等の収蔵品の適切な管理

【ハード（空間）例】

- ・ 小劇場
- ・ 実演・ワークショップスペース

- ・ イベントスペース
- ・ 木の魅力を感じられる多目的室や休憩スペース

- ・ 常設展示室、企画展示室
- ・ 眺望スペース
- ・ 木の文化に資する建築物

- ・ 収蔵庫
- ・ 収蔵品の性質に応じた見せる工夫

## (1) 今後の検討課題

### ■施設整備

- 木の文化都市・金沢を象徴する建築物としての意匠・素材を検討
- まちなみとの調和に配慮した、建物のボリューム・配置を検討
- 各機能に必要な面積を算出し、諸室の規模・配置を検討
- 老朽化が進む泉鏡花記念館の利活用の可能性を検討
- 整備期間中の泉鏡花記念館の運営に配慮した整備スケジュールを検討
- 木の文化都市を継承・創出する金沢会議との連携

### ■施設運営

- 基本理念や役割を踏まえた、魅力的かつ効率的な施設運営のあり方を検討

## ○基本構想の内容

施設の基本理念、役割、機能等において、付加すべき事項がないか

今後の検討課題において、付加すべき事項がないか